

71

770

目次

領解文

正信偈

念佛和讚

末代無智章

聖人一流章

少年勤行本全



領解文

の雑行雑修自力の



No. 9212

特ククク

こゝろをふりすて、一心に

阿彌陀如來我等が今度の

大事の後生御たすけ候へと

たのみまうして候たのむ

念のとき往生一定御助け治

定とぞんじこのうへの稱名

ハ御恩報謝とぞんじよろこ

びまうし候おんこの御おんことわり
 聽聞おんまうしわけ候おんこと御開おん
 山聖人御出世の御恩次第相
 承の善知識のあさからざる
 御勸化の御恩とありかた
 ぞんじ候おんこのうへはさだめ
 をかせらるゝ御おきて一期
 をかぎりまもり申すべく候おん

● 歸命無量壽如來

南無不可思議光
 法藏菩薩因位時
 在世自在王佛所
 觀見諸佛淨土因
 國土人天之善惡
 建立無上殊勝願
 超發希有大弘誓

一	超	不	清	無	普	重	五
切	日	斷	淨	導	放	誓	劫
羣	月	難	歡	無	無	名	思
生	光	思	喜	對	量	聲	惟
蒙	照	無	智	光	無	聞	之
光	塵	稱	慧	炎	邊	十	攝
照	刹	光	光	王	光	方	受

四

應	五	唯	如	必	成	至	本
信	濁	說	來	至	等	心	願
如	惡	彌	所	滅	覺	信	名
來	時	陀	以	度	證	樂	號
如	羣	本	興	願	大	願	正
實	生	願	出	成	涅	爲	定
言	海	海	世	就	槃	因	業

五

常	貪	已	攝	如	凡	不	能
覆	愛	能	取	衆	聖	斷	發
眞	嗔	雖	心	水	逆	煩	一
實	憎	破	光	入	謗	惱	念
信	之	無	常	海	齊	得	喜
心	雲	明	照	一	廻	涅	愛
天	霧	闇	護	味	入	槃	心

是	佛	聞	一	卽	獲	雲	譬
人	言	信	切	橫	信	霧	如
名	廣	如	善	超	見	之	日
分	大	來	惡	截	敬	下	光
陁	勝	弘	凡	五	大	明	覆
利	解	誓	夫	惡	慶	無	雲
華	者	願	人	趣	喜	闇	霧

彌陀佛本願念佛

邪見憍慢惡衆生

信樂受持甚以難

難中之難無過斯

印度西天之論家

中夏日域之高僧

顯大聖興世正意

明如來本誓應機

釋迦如來楞伽山

爲衆告命南天竺

龍樹大士出於世

悉能摧破有無見

宣說大乘無上法

證歡喜地生安樂

顯示難行陸路苦

信樂易行水道樂

憶念彌陀佛本願

自然即時入必定

唯能常稱如來號

應報大悲弘誓恩

天親菩薩造論說

歸命無導光如來

依修多羅顯眞實

光闡橫超大誓願

廣由本願力廻向

爲度羣生彰一心

歸入功德大寶海

必獲入大會衆數

得至蓮華藏世界

卽證眞如法性身

遊煩惱林現神通

入生死園示應化

正	往	報	天	焚	三	常	本
定	還	土	親	燒	藏	向	師
之	廻	因	菩	仙	流	鸞	曇
因	向	果	薩	經	支	處	鸞
唯	由	顯	論	歸	授	菩	梁
信	他	誓	註	樂	淨	薩	天
心	力	願	解	邦	教	禮	子

惑	證	必	諸
染	知	至	有
凡	生	無	衆
夫	死	量	生
信	卽	光	皆
心	涅	明	普
發	槃	土	化

道	唯	萬	圓
綽	明	善	滿
決	淨	自	德
聖	土	力	號
道	可	貶	勸
難	通	勤	專
證	入	修	稱

道	唯	萬	圓
綽	明	善	滿
決	淨	自	德
聖	土	力	號
道	可	貶	勸
難	通	勤	專
證	入	修	稱

開	光	矜	善	至	一	像	三
入	明	哀	導	安	生	末	不
本	名	定	獨	養	造	法	三
願	號	散	明	界	惡	滅	信
大	顯	與	佛	證	值	同	誨
智	因	逆	正	妙	弘	悲	慳
海	緣	惡	意	果	誓	引	慳

報	專	偏	源	卽	與	慶	行
化	雜	歸	信	證	章	喜	者
二	執	安	廣	法	提	一	正
土	心	養	開	性	等	念	受
正	判	勸	一	之	獲	相	金
辨	淺	一	代	常	三	應	剛
立	深	切	教	樂	忍	後	心

極ごく重ぢゆう惡あく人にん唯ゆい稱しやう佛ぶつ

十六

我が亦やく在ざい彼ひ攝せつ取しゆ中ちゆう

煩ぼん惱なう障しやう眼げん雖すい不ふ見けん

大だい悲ひ無む倦けん常じやう照せう我が

本ほん師し源げん空く明みやう佛ぶつ教けう

憐れん愍みん善ぜん惡あく凡ほん夫ふ人にん

眞しん宗しゆう教けう證まう興かう片へん州しゆう

選せん擇ぢやく本ほん願ぐわん弘くわ惡あく世せ

還くわん來らい生しやう死じ輪りん轉でん家け

決くわち以い疑ぎ情じやう爲ゐ所しよ止し

速そく入にふ寂じやく靜じやう無む爲ゐ樂らく

必ひつ以い信しん心しん爲ゐ能のう入にふ

弘くわ經きやう大だい士し宗しゆう師し等とう

拯じやう濟さい無む邊へん極ごく濁ぢやく惡あく

道だう俗ぞく時じ衆しゆう共くわ同たう心しん

唯ゆい可か信しん斯し高かう僧そう說せつ

十七

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

十八

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

彌み陀だ成じやうぶつ佛ぶつののここののおおたたり

いまに十劫じゅうこふとてたまり

法ほつ身しんのの光くわうりん輪りんささりりももななく

世せのの盲まうみやう冥みやうとてらすなり

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

智ち慧ゑのの光くわうみやう明みやうははおおりりななし

十九

有量うりやうの諸相しよさうことごとく

光くわうけう曉きやうかふるかふるものりものりなほし

眞ま實じつ明みやうにに歸くわい命みやうせよ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も

阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ彌み陀だ佛ぶつ

南な無も阿あ

解げ脫だつの光輪くわうりんきりきりもなし

光くわうせき觸せきかふるかふるものりものりなほ

有う無むとはなるはなるものべものべたまふ

平等覺に歸命せよ

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

光雲無罣如虛空

一切の有罣にさへりなし

光澤おふらぬものごとなき

難思議と歸命せよ

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

清淨光明きやうじやうくわうみやうならびなし

遇斯光ぐすくわうのゆゑなれば

一切いっさいの業ごふひ繫ひものごころぬ

畢竟ひつじやう依よと歸命くわみやうせよ

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

南無阿彌陀佛

佛ぶつ光照くわうせう曜けう最さい第だい一いち

光炎王佛くわうえんわうぶつとなづけけたり

三塗さんづの黒闇こくあんひらくなり

大應供だいうぐと歸命くわみやうせよ

願ぐわん以い此こ功く德とく

平へう等とう施せ一いつ切さい

同どう發ほつ菩ぼ提だい心しん

往わう生せう安あん樂らく國こく

未ま代たい無む智ちの在ざい家け止し住じゆの男おん女にょ

たらんともがらハこゝろを

ひとつにして阿彌陀佛あみだぶつをふ

かくたのみまゐらせてさら

に餘よのかたへこゝろをふら

ず一心いつしん一向いこうに佛ぶつたすけたま

へとまうさん衆生しゆじやうをばたと

ひ罪業ざいごふハ深重じんじゆうかりともかゝ

らず彌陀如來あみだにょらいハすくひまし

ますべしこれすあハち第十

八の念佛往生の誓願のこゝ

ろありかくのごとく決定し

てのうへにハねてもさめて

もいのちのあらんかぎりハ

稱名念佛すべきものありあ

あかしとああかしと

聖人一流の御勸化のをもむ

きハ信心をもて本とせられ

候そのゆゑハもろくの雑

行をおけすて、一心に彌陀

に歸命すれハ不可思議の願

力として佛のかたより往生

ハ治定せしめたまふそのく

らるを一念發起入正定之聚

とも釋しそのうへの稱名念

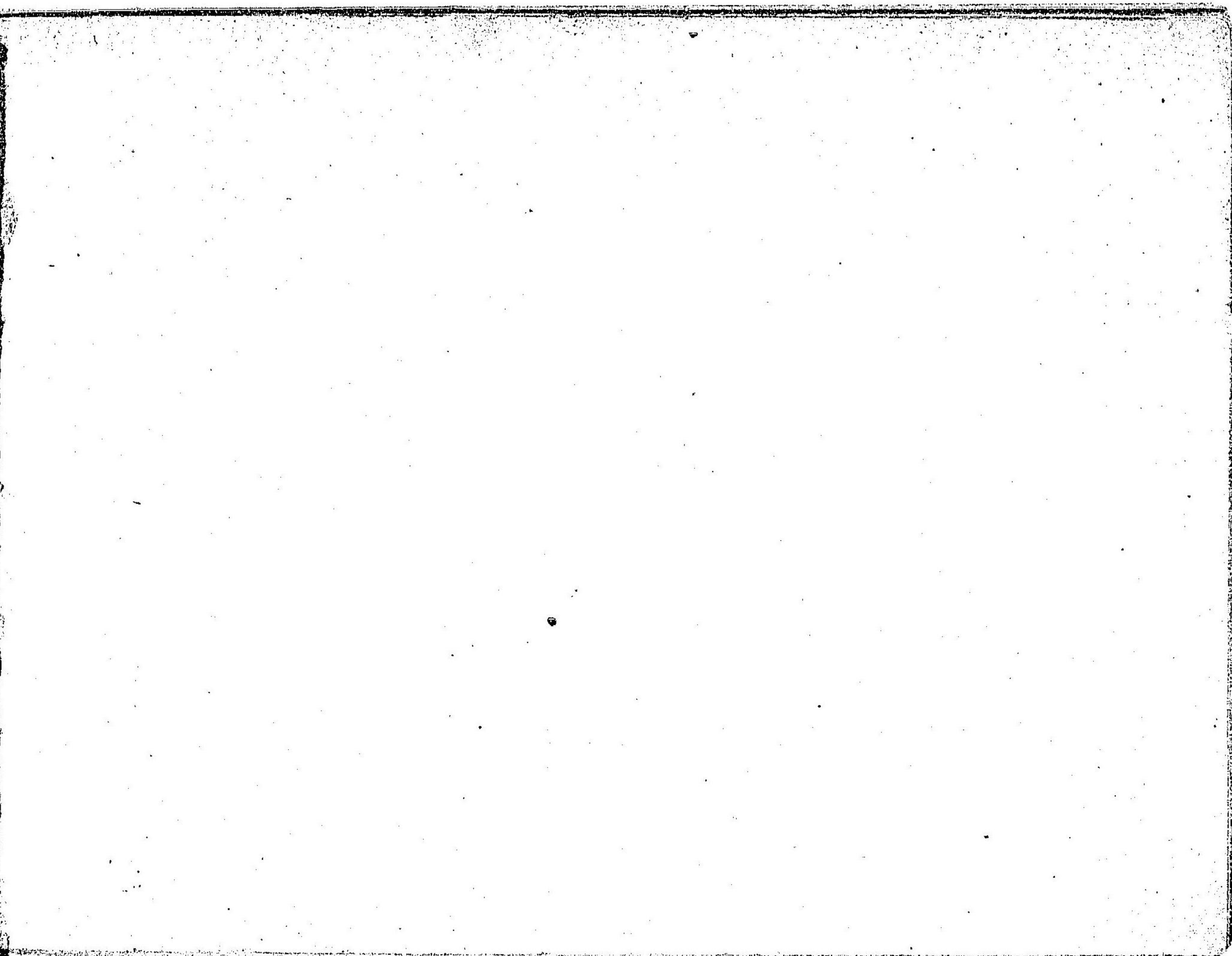
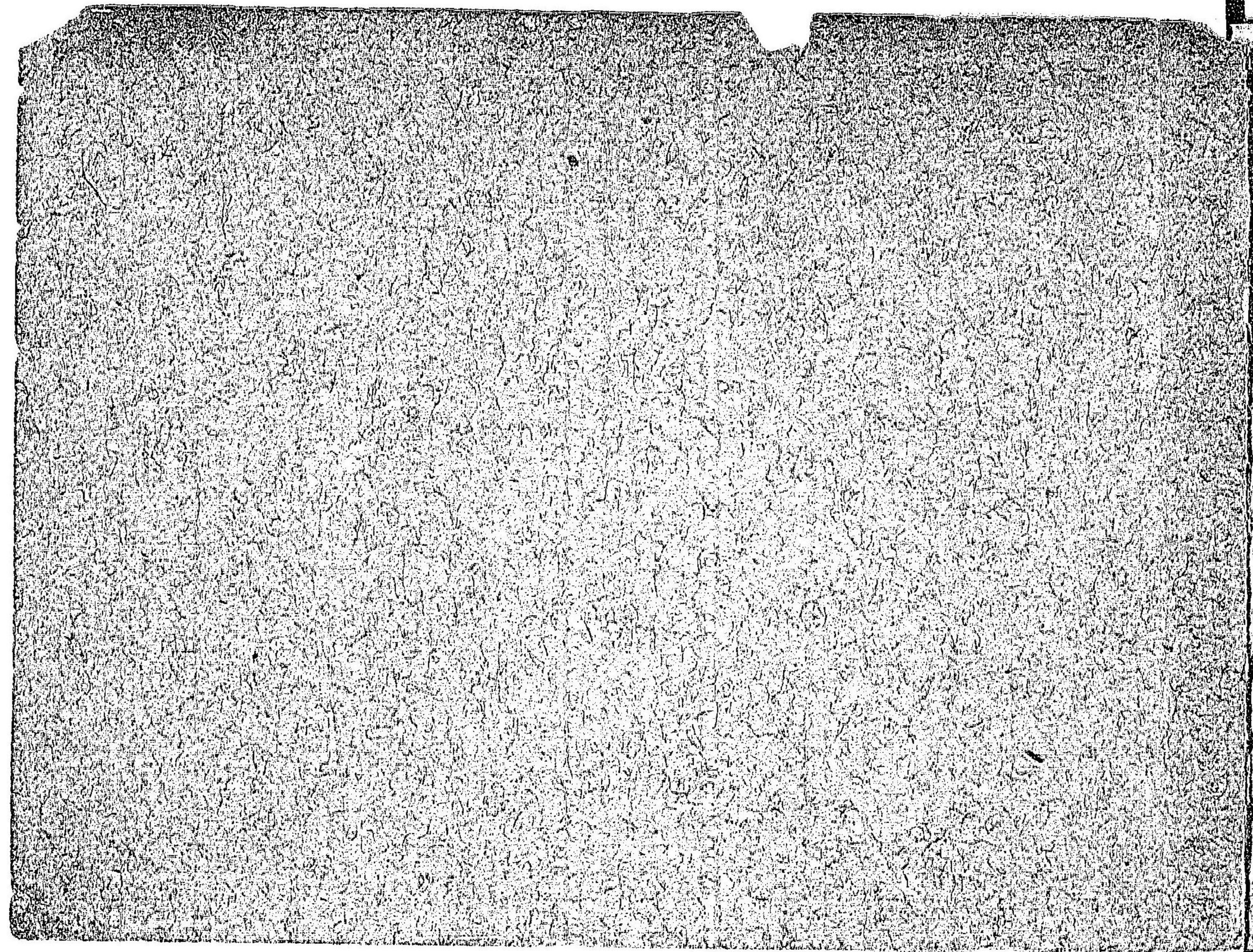
佛ハ如來わが往生をさだめ
たまひし御恩報盡の念佛と
こゝろうべきなりあなかし
こあかかしこ

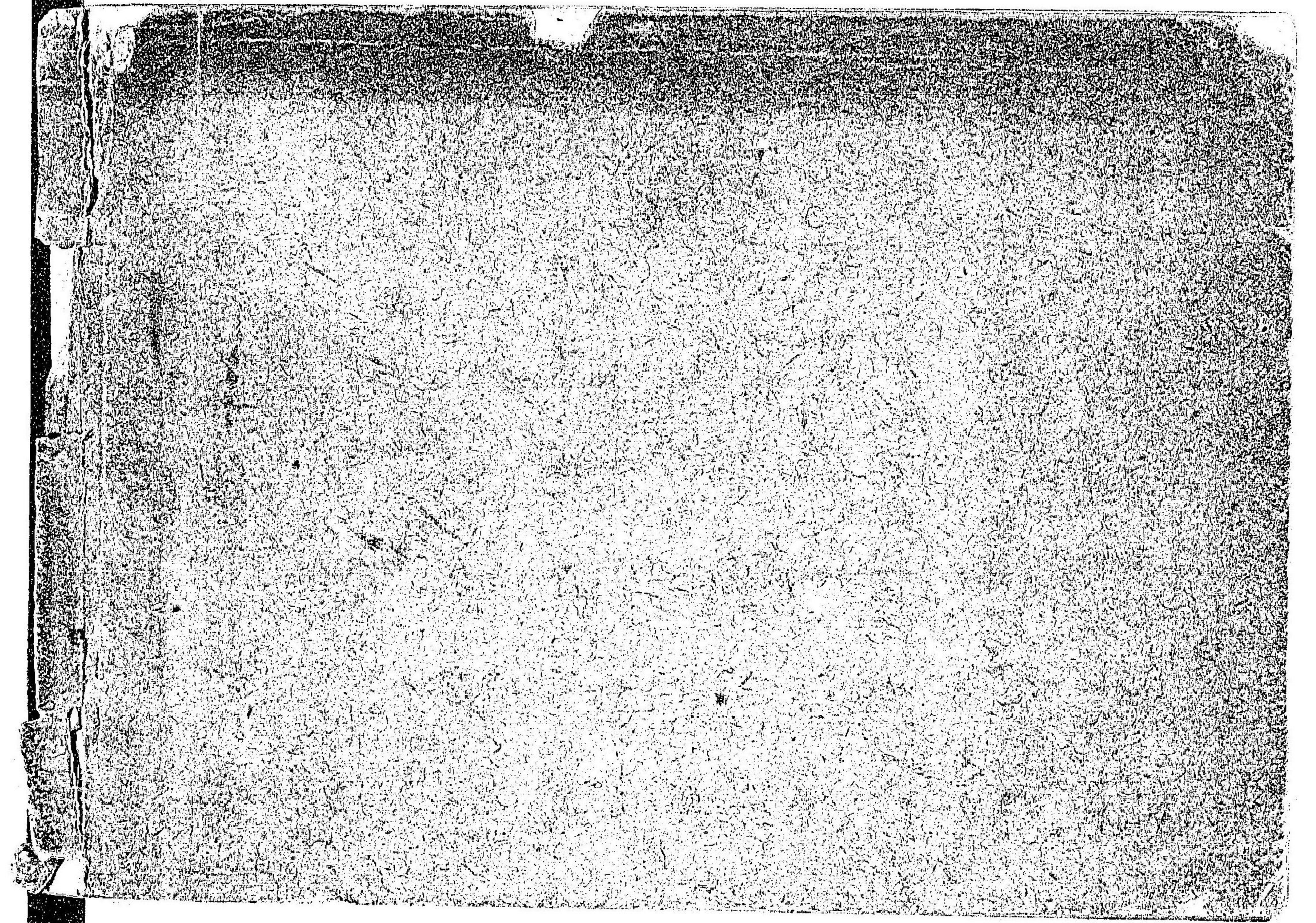
明治廿年十二月十七日出版御届(定價金三錢)

同廿一年一月 出版

編輯兼出版人 愛媛縣平民 山本貫通

東京京橋區築地寄留
三丁目六十四番地





特 71

770

301353-001-3

特71-770

少年教会勤行本

山本貫通

M21.1

ABI-0001

